

第1回（仮称）根津景観形成重点地区景観づくり検討会の 結果について

1 開催概要

（1）目的

景観形成重点地区のモデル地区として選定した根津地区の一部において、地区住民との協働による景観づくりの検討を進めるため開催しました。

（2）開催状況

日程	時間	参加人数	会場
5月18日（金）	19:00～21:00	17人	不忍通りふれあい館 4階 会議室

※対象地区に居住又は営業している方を対象としました。

（根津一丁目1番、二丁目1～18番、21～26番、30～35番に居住又は営業されている方、同住所に土地又は建物を所有されている方、根津宮永商盛会、根津銀座通り商睦会に加盟（文京区内）されている店舗を営業されている方）

※周知については、開催案内及び3月9・10日に行った住民説明会での主な意見を記載した「景観づくりニュース」を、対象地区の全戸に配付しました。

（3）内容

○資料説明

- ・住民説明会の概要と主な意見について
- ・検討会の進め方について
- ・根津の魅力について

○グループ討議

- ・出席者の自己紹介
- ・根津のまち並みの魅力について

2 グループ討議における主なご意見

2つのグループに分け、テーマである「根津のまち並みの魅力」について討議を行いました。

(1) グループA

概要	番号	主なご意見
雰囲気ある路地・緑	1	道幅や建物が適切な規模や大きさであり、人間の感覚に合っている。
	2	かくれんぼや鬼ごっこができる。
	3	車の通行が少ない路地が多く、落ち着きがある。
	4	道路基盤が整備されたまちには無い魅力がある。
	5	根津らしさ（雰囲気ある路地）と和風は違う。
人の交流・人情・生活感	6	木造家屋が連続しており、落ち着いた雰囲気が人々の交流を生む。
	7	何気ない軒先の緑や鉢植えの花木が、対話のきっかけとなる。
	8	お祭り等の行事や催し物が多く行われ、新旧住民の交流が図られる。
	9	昔からあるお店に人が集まり、人情が感じられる。
	10	防犯や子どもの見守りなど、人の目が行き届いている。
	11	昔はまち全体が職場（生産の場）であり、その中から人情が感じられた。
建物	12	建物の色合いが落ち着いている。
今後の取組について	13	検討会の目的と目標をしっかり持ちながら、議論を深めたい。
	14	防災・耐震とまち並みの風情の両立を考えていきたい。
	15	根津らしさと和風は違うと思う。そのことについて、皆さんと共有していきたい。

(2) グループB

概要	番号	主なご意見
雰囲気ある路地・緑	1	路地が多く残っており、江戸時代から変わらない一画もある。小さな路地には、井戸が残っている。
	2	植木があり、緑が多く、しっとりとした風情を醸し出している。
	3	花が多く、目だけでなく花の匂いからも季節が感じられる。
	4	昔ながらの雰囲気がある。
人の交流・人情・生活感	5	ご近所同士の交流がある。住民の人情が感じられる。お祭りや地域行事の積み重ねがある。
	6	昔は職人のまちであり、個人商店も多かった。
	7	小さな子どもが多く遊んでいる。
	8	夕飯を支度する音など、人々の生活感が感じられる。
建物	9	質屋さんや丁字屋さんなど、雰囲気のある建物が残っている。木造住宅が密集している。
今後の取組について	10	根津は借家が多く、まちづくりを行うには難しい面がある。
	11	地区内のどこかの場所を取り上げて、見える形で取組を進めてみる。例えば、ひとつの路地を取り上げて、まち並みづくりを実践してみる。見せていって、そういったものをやりたいと思う人を増やすような雰囲気づくりが大切である。
	12	古いものを残すだけでなく、新しいものに対する共通の方向性を見出したい。